

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年10月期

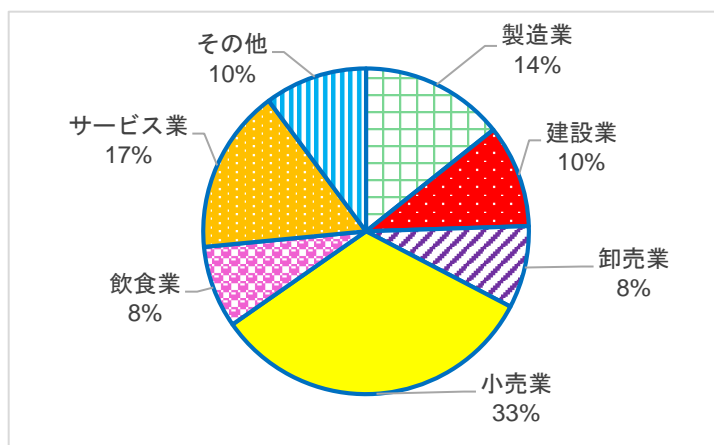
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は49名（回答率は73.1%）

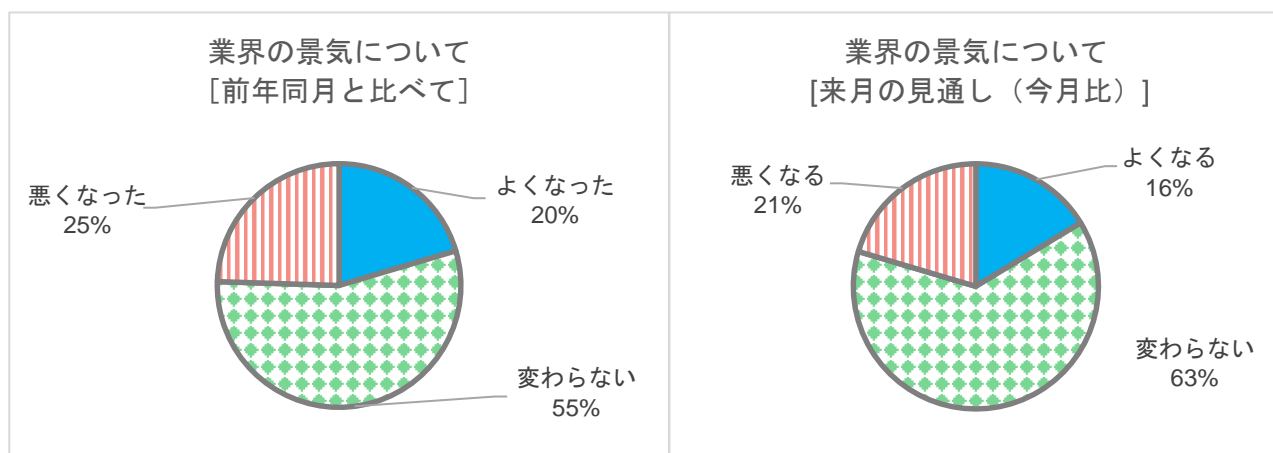
業種	回答者数	構成比
製造業	7	14.3%
建設業	5	10.2%
卸売業	4	8.2%
小売業	16	32.7%
飲食業	4	8.2%
サービス業	8	16.3%
その他	5	10.2%
計	49	100%



## 調査結果のポイント

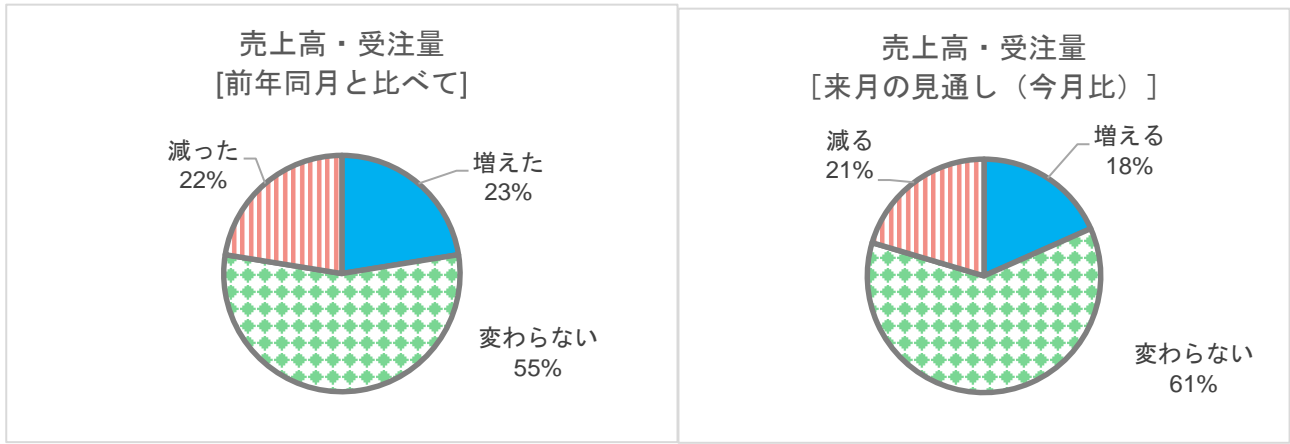
### <景況>

- ・2022年10月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が20.4%、「変わらない」が55.1%、「悪くなった」が24.5%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「よくなる」が16.3%、「変わらない」が63.3%、「悪くなる」が20.4%となりました。



### <売上高・受注>

- ・2022年10月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」22.4%、「変わらない」が55.1%、「減った」が22.4%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「よくなる」が18.4%、「変わらない」が61.2%、「減る」が20.4%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足が続いている。 &lt;物流運搬設備(製)&gt;</li> <li>・半導体不足は解消されつつあるも、自動車の生産計画が下方修正されているが、その他の業界でも部品の調達難から生産計画の見直しがみられる。 &lt;事業協同組合(鍍金)&gt;</li> </ul>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家や空地が目立つようになった。 &lt;建築工事業&gt;</li> <li>・物件数が昨年の70%である。営業努力が必要。 &lt;木製家具(製)&gt;</li> <li>・年末が近くなり毎年のことであるが、職人不足の声を聞くことが多くなった。今年には特に内装業者さんの数が不足しているらしい。今後年度末に向かい、更に職人不足が多くなるであろう。 &lt;建築設計業&gt;</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価上昇に発注先が了解していただけない現状がある。 &lt;鑄材(卸)&gt;</li> <li>・物流人員の募集を続けてますが、応募がない。 &lt;菓子材料(卸)&gt;</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菓子の材料や包材も2次値上げの影響があり高騰しているため、どうしても客足が落ちている傾向があるが、来年から始まる大河ドラマで全国からの集客効果に期待したい。 &lt;菓子小売業(製・小)&gt;</li> <li>・新車の納期遅れが半年から1年以上になると下取り予定のお車の車検が切れてしまう問題がある。代車を出すか、車検を取って対応するが、どこからも補填される事がなく、お客様が負担してくれるのなら良いのだが、サービスを売りにしてお客様と繋がって来た中小企業の多くは、自腹で費用負担をしているところも少なくない。新車を売れば売るほど苦しくなる現状が重くのし掛かる。 &lt;自動車(小・修)&gt;</li> <li>・価格上昇とこの時期に必ず起こる、物不足が心配である。 &lt;自動車タイヤ(小)&gt;</li> <li>・浜松ではインバウンド客の姿が見られない。 &lt;経営コンサルタント&gt;</li> <li>・家庭向けの電化製品だけでなく、業務用の電化製品の値上げが来年の1月から始まる。 &lt;家庭電化製品(販)&gt;</li> <li>・当業界メーカーの標準小売価格が1月より上がる。 &lt;印鑑(製・販)&gt;</li> <li>・原油の価格は高い水準の中で上下している。政府の緩和措置で、大きな価格変動はなっていないが、数量確保のための価格競争も激しくなっている。 &lt;事業協同組合(石油)&gt;</li> </ul>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材費の増加額を売上単価に転嫁しきれず、粗利益が減少している。 &lt;税理士&gt;</li> <li>・飲食は例年よりも暖かさが長引き、季節感や年末感が薄れて月初めは売上げが鈍るだろう。 &lt;茶(加・小)&gt;</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備業は交通誘導警備、イベント警備、施設警備等々、需要は安定しているが、それに応える供給をするための人財確保が追い付いていない状況。 &lt;警備業&gt;</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職時の健康保険証回収を徹底せよとのお達しが出ている。マイナ保険証に一本化されれば郵送の手間も切手代もいなくなるのだが… &lt;社会保険労務士&gt;</li> <li>認知症対策の相談が増加している。 &lt;司法書士&gt;</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行との付き合い方で、どのように接したら良いか困っている。 &lt;税理士&gt;</li> <li>業界自体もイベントのリアル開催が増え、コロナ以前の状態にもどりつつある。半面、資材不足や価格の高騰がネックになっている。 &lt;ディスプレイ業&gt;</li> </ul>

### ■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナウイルスに対する意識は世間的には緩んできてはいるが、ワクチンを打つようには推奨している。 <物流運搬設備(製)>
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、融資を受けた企業が今後返済に追われる状況が見えつつある。 <農産物(卸・加工)>
- ・遊びに行く人は増えてきた。コロナの影響は殆ど感じなくなってきた。 <玩具(販)>
- ・コロナ自粛が解除になったもののコミュニケーション不足の解消には至らず、職場のトラブルは以前より厄介な事になっているように感じる。 <社会保険労務士>
- ・コロナ感染症による企業経営への影響は減少傾向にある。 <事業協同組合(機械)>
- ・コロナ感染は横並びですが、収束傾向にあり喜ばしいです。 <ディスプレイ業>
- ・新型コロナウイルスがまた増えつつある中、インフルエンザとのダブル流行も懸念されている。新型コロナウイルスワクチンも何度打ったら良いのか分からないし、繰り返し行われることで、冷めた感じもある。 <同業団体(商業)>
- ・第8波の影響が心配。コロナ対策はインフルエンザの対策と違い模索の状態である。 <事業協同組合(鉄)>
- ・新型コロナウイルスと物価高騰・円安のトリプルアンチで、かなり景気が冷え込みそうな感じがしている。 <農産物(卸・加工)>

### ■自然災害の影響

- ・台風の影響で、市外ですが未だ営業再開できてないお客様もいる。 <菓子材料(卸)>
- ・建築会社で台風15号の直接的な被害で地域の復旧を優先するため事業が停滞した顧客があった。 <行政書士>

### ■物価高騰・円安の影響

- ・物価高騰の影響がかなり出てきている。高騰前に多く仕入れてた部品等があるため何とかなっているが、仕入れるものほぼ全てが値上がりしている状況。売上は少しずつ戻ってきているものの利益をそこで取られてしまう。 <楽器(製)>
- ・円安、ロシア戦争が心配。 <木製品(製)>
- ・物価高騰、材料価格が上昇している。 <木製家具(製)>
- ・円安で海外から送金される配当、売上については昨年と比べて大幅に増加。ただし国内では電気代が3,000円から4,000円に増大しており国内の利益を圧迫している。 <事業協同組合(鉄)>
- ・不安定な国際状況、円安によるエネルギー高、原材料の高騰により収益状況が著しく悪化している。 <事業協同組合(鍍金)>
- ・木材に関しては、輸入材だけでなく国産材も値上りした。 <建築工事業>
- ・物価高騰の対策をしなければならない。 <木製家具(製)>
- ・物価高騰のため、見積書の作成に手間がかかる。 <鋳材(卸)>
- ・あいかわらず値上げラッシュで、その対応に追われて営業が疲弊している状態。 <菓子材料(卸)>

- ・コロナ禍というより、ロシアとウクライナの戦争などの影響からくる物価高騰により購買力が落ちてると感じる。 <菓子小売業(製・小)>
- ・物価高で全てのものが値上がりして、企業業績や家計に悪影響を与えている。 <自動車タイヤ(小)>
- ・原材料の高騰、円安の影響で商品価格が上がり、売りにくくなったのと、掛け率も悪くなり、値引き競争も負担になるため、余計に売上が減ってきている。先行き不安からの買い控えも感じる。 <玩具(販)>
- ・仕入価格が上昇してきている。 <印鑑(製・販)>
- ・物価高騰による買い控えが増えている。 <花・植木(小)>
- ・電気・ガス料金の負担軽減策が、早ければ来年1月から実施されるが、LPガスは事業効率化支援を通じて価格抑制を目指すという内容で、実質対象外となった。ウクライナ情勢や円安の影響で昨年から既に急騰している事実を無視しており、愚策の極みである。 <燃料(小)>
- ・食材費の単価が上昇している。 <税理士>
- ・昨年に比べて光熱費が1,5倍ほど上がったように体感する。節約のしようがなく困っている。 <茶(加・小)>
- ・円安が続いていますが、揺り戻しがいつなのか、先が見通せられない。 <税理士>
- ・期の始まりから、物価高騰に備えて大幅な賃上げをした結果、従業員の不安な声を聞くことが今のところないが、今後続く物価高騰の対策を只今検討中。 <警備業>
- ・物価高騰により注文住宅の受注が難しく建売住宅にシフトする動きが見られる。 <行政書士>
- ・物価高騰の影響より経費の増大が顕著である。 <実業団体(税務)>
- ・売上としては上がってきているものの、やはり物価高騰が経営を圧迫しているところが多いと思う。 <楽器(製)>
- ・円安で資材が更に高騰している。 <木製品(製)>
- ・円安に伴う材料、資材の高騰が起きている。電気代を始めとするエネルギー価格の高騰。 <事業協同組合(機械)>
- ・顧問先の飲食店は物価高騰に苦労している。 <税理士>
- ・鋼材価格が60%ほど高くなったが、下請けの弱みで価格転嫁ができない。(赤字額と材料が上がった分がだいたい同じくらいだった) <物流運搬設備(製)>

### ■インボイス制度・電子帳簿保存法について

- ・慣習として振込手数料を売り手側が負担することが多く、コストの負担感がある。インボイス制度により、買い手(支払側)負担に統一されることを期待している。 <機器工具(卸)>
- ・情報収集と準備段階である。 <玩具(販)>
- ・税務上での「適格請求書発行事業者」の登録手続きは、順調に進んでいるようだ。 <税理士>
- ・インボイス制度の理解がまだまだ浅いようだ。 <実業団体(税務)>

### ■その他

- ・トヨタ自動車は今後の新車(限られた車種)の2つあるスマートキーを当面の間1つしか付けずに納車すると通達があった。時期は未定だが、後からお届けするので追加発注も返金も受付ないようだ。半導体不足は未だ深刻な問題。 <自動車(小・修)>
- ・区割りについての議論の後は野球場新設問題。市と県双方が批判をしあうのではなく、理性を持ち紳士的な言動で対応をするべきである。 <物流運搬設備(製)>